

## 【 第8回 ユースアジア選手権 】

2018年9月16日～9月26日 開催地:ヨルダン

### 試合結果報告 9 月 18 日 ( 火 )

JPN	VS	QAT
<b>15</b>	前半	<b>16</b>
<b>16</b>	後半	<b>15</b>
<b>31</b>	合計	<b>31</b>

#### 個人得点

No.	名前	得点	合計
1	石 濱 壘		0
2	佐 藤 陽 太		0
4	可 児 大 輝	4	4
6	窪 田 礼 央	3	3
7	安 平 光 佑	5	5
8	清 水 裕 翔	1	1
9	吉 田 守 一		0
11	藤 川 翔 大	4	4
12	矢 村 裕 斗		0
14	山 口 直 輝	1	1
15	石 嶺 秀		0
17	朝 野 翔 一 郎	3	3
18	梶 山 瑞 生	2	2
20	石 田 知 輝		0
21	角 陸 輝		0
25	蔦 谷 大 雅	8	8
			31

#### 戦評

予選リーグ突破をかけた第3戦は、各カテゴリーで成長著しいカタール。日本セブンはミーティングでこの試合の重要性を確認し、一致団結して戦いに臨んだ。スターティングメンバーは、RW梶山、RB蔦屋、CB石田、LB藤川、LW可児、PV朝野、GK石濱、DF山口の布陣。開始早々から、カタールのNo.10が闘志剥き出しのプレーで日本ゴールを襲う。対する日本は、RB蔦屋がキレのあるミドルを叩きこみ、一進一退の攻防を展開。カタールはNo.10、No.15の力強い個人技で得点を重ねる。一方日本は、変わって入ったCB安平の展開から、LB窪田、RB蔦屋が打ち込み、前半は16-15の1点リードで折り返す。

後半開始早々、カタールの退場やミスに乗じて、LB藤川の連打で22-18と4点のリードを奪う。カタールのNo.10にシュートをねじ込まれるも、再び蔦屋のミドルが突き刺さり、4点のリードを保つ。しかし、ノーマークシュートをカタールGK・No.18の攻守に阻まれ、徐々に追い上げられ、29分には30-30の同点となる。日本はラスト30秒でチームタイムアウトで攻撃の意思統一をはかり、ラスト20秒CB安平、LB窪田、LW清水の氷見トリオの鮮やかな連携プレーから勝ち越し点をあげるが、すぐに失点してしまい、31-31の同点でタイムアップとなった。

この結果、得失点差で予選ラウンドを突破、メインラウンド進出を決めた。メインラウンド初戦は、大会直前のトレーニングマッチで2戦2敗のバーレーン。日本代表ユースチームはリベンジに燃えている。

報告記入者 :

吉田耕平